　　　　　　　　　御正忌報恩講（ご案内）

謹啓、寒さが厳しくなって参りました。平素は御門信徒の皆さまにはご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

　報恩講は真宗門徒にとりまして、一番大切にお勤めされてきた法要であります。今年は親鸞聖人の七百五十九

回忌法要であります。この法要の目的は、本願他力の教えに遇い、本願他力のご信心を頂くことであります。すでに教えに遇い、真実信心を頂いた人にとっては、信心のさらえであります。最近の真宗寺院は形式化、習慣化されて、なんのために法要をするのかという焦点があいまいとなり、熱意が弱くなっている感じが致します。申し訳ないことであります。初心に帰っていく報恩講が願われていることであります。今年は愛知県から先生をお迎え致しました。万障繰り合わせ、御参詣下さいますようご案内申し上げます。　　　　　　　合掌

記

**日時**　　　令和二年　　一月　二十五日（土曜日）昼席一時半　　渡邉尚子先生

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　夜席七時半　　住職

　　　　　　　　　　　　　　二十六日（日曜日）昼席一時半　　渡邉尚子先生

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　夜席七時半　　住職

　　　　　　　　　　　　　　二十七日（月曜日）昼席一時半　　住職　坊守

**講師紹介　渡邉尚子先生は愛知県豊田市の真宗大谷派寺の坊守様です。昨年日豊教区坊守研修会の講師**

**として大分へお越し下さり、生活の中の出来事を通して、お念仏の教えをどのように聞かせていた**

**だくのか、とてもわかりやすいお話をして下さいました。お寺でさまざまな活動をされる中、読書**

**会を開いておられます。その読書会のような雰囲気でお話下さるとのことです。**

**御著書もございますので、そちらもご覧になって下さい。**

**『あなたは、あなたにればいい　　あなたは、あなたでればいい』渡邉尚子著　樹心社刊**

　○二十五日昼席後、おぜんざいをご用意しております。

**（引き受け　原口地区）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　普光山　　長　仁　寺

　御門信徒各位